

ひかるはひかる

～自分らしく生きることの大切さについて考える～（自分らしさ）

ねらい

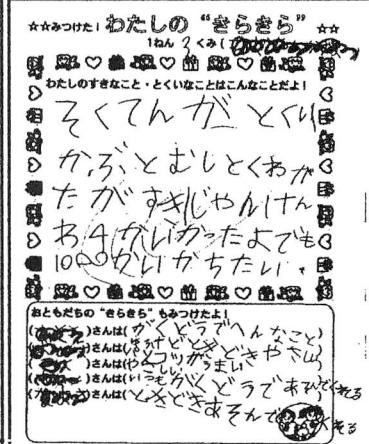
『ひかるはひかる』は、「女らしく・男らしく」の枠をはずし、自分らしく生きることがすてきであることを感じとつていこうとするものである。

「ひかる」の体験と子どもたち自身の体験をだぶらせながら、読みすすめ、女の子でも男の子でもどっちでもいい、「すてきなひかる」に気づくように、読みとる。

次時では、「ひかる」のように「すてきな自分」に目を向ける。

あおめ方

活動の流れ	支援や留意点
<ol style="list-style-type: none"> この題名をみてどう思うかな <ul style="list-style-type: none"> 人の名だよ 男の子だ 女の子だと思うよ ひかるはどんな子なのかな 『ひかるはひかる』を読んでみよう。 読んで思ったことは <ul style="list-style-type: none"> おもしろかった さかだちができるから男の子だ ひかるはすてき。さかだちやいろいろできるから ひかるがうさぎとなかよしでうれしい ひかるの赤ちゃんのころはどんなだったかな <ul style="list-style-type: none"> みるく ねむる なく わらう <p>⇒女の子も男の子もおなじだね</p> ひかるのすきなことやとくいなことは？ <ul style="list-style-type: none"> さかだち きのぼり はしるの すべる うさぎ うちゅうせん うたう ともだち <p>⇒女の子でも男の子でもどっちでもいいね</p> <ul style="list-style-type: none"> あとうともままごとするよ さかだちする女の子をみたよ みんなもひかるとおなじことすき？ <ul style="list-style-type: none"> ○○がすき ○○がすき <p>⇒この題名は「どっちでもいい」といういみだね</p> ふりかえりをしよう　おもったことは？ <ul style="list-style-type: none"> あとこもあんなもかんけいない。 たのしかったよ。 	<p>題名からいろいろなことを想像して、「読んでみたい」という気持ちをふくらませたい。</p> <p>担任の心の中にある結論にこだわらずに、自由にいろいろな視点から話をさせたい。</p> <p>「ひかる」の成長の時期を追いかながら、子どもの思いも大切にしながら、ゆっくりと読みとらせたい。</p>

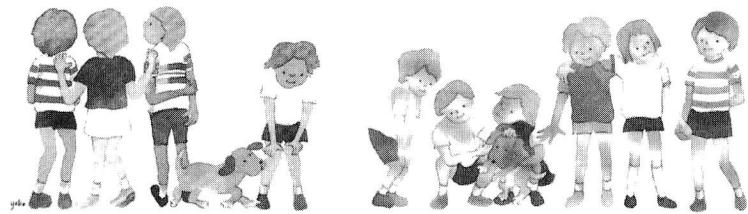


「ひかる」とおなじように、自分自身やまわりの友だちにも“キラキラ”があることに気づかせたい。また、それを考えるときの‘ここちよさ’もあじわわせたい。

出典

『じえんだあ・ふりいBOX』(大阪府同和教育研究協議会編) より
『ひかるはひかる』(作成発行/豊中市教育委員会)

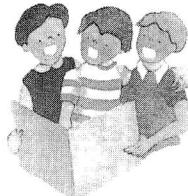
ひかるはひかる



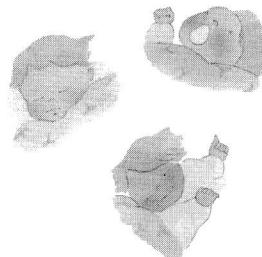
赤ちゃんが 生まれた
名まえは ひかる



歌を歌うのは楽しい
ともだちといっしょに歌うと
もっと 楽しい

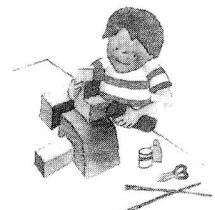


ひかるは ねむる
ひかるは ミルクをのむ



うちゅう船をつくる

せっけい図をかいて
ざいりょうをあつめて
組み立てる
色をつけて
まるでほんものみたい



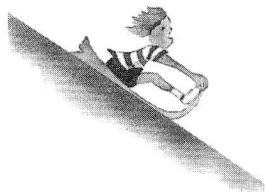
ひかるは ねむる
ひかるは なく

ひかるは ねむる
ひかるは わらう

ひかるは あんなのこ? おとこのこ?

くろうしたけれど
やっと
できあがった
こんなに
うれしいなんて

ひかるは 元気にあそぶ



あんなに
かわいがっていた
うさぎがしんだ



きゅうなしゃめんをする
ぜんしんで
風を切って
すべりあるいはのって さいこう!



あつい日も
さむい日も
しいくごやで
いつしょにあそんだのに
なみだがとまらない

ひかるは おとこのこ?
それとも
ひかるは
さかだちもとくいな
あんなのこ?



ひかるは
あんなのこかもしれない
おとこのこかもしれない



大きな木の上は
木のはが サラサラ
すずしく ゆれて
遠くがみえる

ひかるが
大すぎなばしょ

でも
いつでも
いつまでもひかるは
ひかる

参考 小学校1~3年生のための“身の回りの ちょっとネタ”

えのぐセットが届いた日に…

T: みんな絵の具セットが届いてうれしそうだね。そのかばんの色は自分で選んだの?

S: 自分で選んだよ。

T: みんな何色を選んだのかな。

S: ピンク オレンジ 青 水色 ……

T: 何か気のつくことないかな?

S: ピンクとオレンジは女の子ばっかり。

T: 青と水色はMさん以外は男の子や。

⋮

T: Mさんはどうしてこの色を選んだの?

M: だって私、この色がすきだから。

T: 好きな色が女の子と男の子でこんな風に
はっきり分かれてしまうのは、小さいとき
からいつの間にか、この色は女の子の色、
この色は男の子の色ってきめてしまってい
ることがあるんだよね。そんなことない?

S: あるある。

T: でも、みんながそんな風に思っている中
で、「私は水色が好き」って本当に自分の
好きな色を選んだMさんってどう?

S: すごいと思う。だって、私やったら1人だけ
ってなんかいややけどMさんはそんなこ
と関係なく自分の好きな色を選べるからす
ごい。

⋮

いっしょに遊ぼう 男女をこえて…

(数人の女の子たちが「はないいちもんめ」をし
ている横で、一人の男の子Kさんが仲間に入り
たそうにもじもじしている姿を見た、数日後に
…)

T: 今日は、学校での遊びについて考えよう。
いつもみんな何をして遊んでいますか。

S: サッカー おにごっこ あえかき…

T: 今までに、遊びでこまつことなかつた?
例えばはずかしくてはいけなかつたり…

K: 「はないいちもんめ」ではいけなかつた。○○
ちゃんたちが「はないいちもんめ」をしてた
けど、何て言っていいかわからんかった。

T: どうしたらみんなで楽しく遊べるかな。

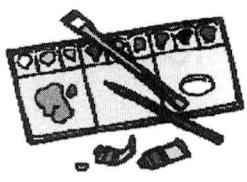
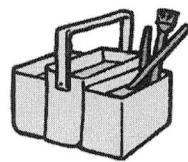
S: 勇気出して「ませて」って言えばいい。

⋮

T: 女の子も男の子もみんなまざって遊べると楽し
いね。いっしょにどんな遊びをしたい?

S: かべおに おにごっこ サッカー…

⋮



※身の回りのいろいろなできごとや、子
どもたちのことばの中に、ジェンダーフ
リーについて考えるきっかけがありま
す。その場をとらえて、子どもたちに投
げかけ、考えさせていくことが大切で
す。この絵の具セットの件も、とてもよ
い機会といえます。

また、Mさんのように自分をしっかりと
主張できる子に対して、「MさんはMさ
んでいいんだよ。」とクラスのみんなが
認められること、どの子も「私は私でい
いんだ。」と思えることができるよう
な仲間作りも大切にしていきたいもので
す。

一方で、「子どもたちが性を意識せず
に自由に色を選べるような品揃えになっ
ている絵の具セットを取り上げる」「業
者に意見を言っていく」などのとりくみ
もすすめていきましょう。



※身の回りのいろいろなできごとをもとに、子
どもたちとジェンダーフリーにつ
いて考える時、次のようなことも大切に
しましょう。

「自分たちの力や考え方で生活や活動を
創るんだ」という意識が持てるように、
じっくりと子どもたちの声を聞いてあげ
てください。「低学年でも、考えやおも
いをもっている」ということを常に忘
れないようにしましょう。

また、おりして「担任の心のなかにあ
る結論」まではいかないようにして、で
きるだけたくさん子どもの声を聞いて
いくようにしましょう。いろいろ視点か
らの考えがたくさん出される中から、自
分なりの結論を持たせてていきたいもの
です。